

### にぎわう「金堂」 資料館と町の宝

警梯町・鈴木 恒吉  
(無職 77)

過日、散歩がてらに町内にある警日寺跡金堂まで出掛けた。大勢の見学者が訪れていたのに驚き、中に入ってガイドの説明を聴いた。

朱色の柱と梁(はり)、もちろん、住民の情熱なそして黒漆塗りで薬師坐像を安置する台座がまるたと思つた。特に地元の本寺地区の方々の協力は忘れてはならない。

### 同郷滝桜宇宙の 帰還後発芽願う

三春町・伊藤キヨイ  
(無職 71)

過日の福島民報で「滝桜の木の周りで遊んだ

もめる。これからも多くの観光客が訪れることを期待する。

桜が宇宙へ」の記事に満

り、うれしく見入っていました。私は滝桜のある滝地区で生まれ育った者です。

思い起こせば私たちは昭和十八年に日の丸の旗を手に国民学校に入學しました。桜の季節には図工や体育の時間などには

同じ滝地区生まれの桜

どありませんでした。木の周りを一回りするの

最強の夢かなわず  
名を後世に留めたか  
ったが  
——井上康生  
(南会津・白熊)

見せ  
意合  
のフリーダイヤル  
紙問  
01-20-806644

コピー・掲載写真(一部を除く)を無料で提供  
します。日曜、祝日を除く午前10時〜午後5時まで受け付けています。

三つ子の魂百までというの本当か。本当だ。三歳の時、おそらく初めての「映画館」を体験した。見た映画は「劇場版サンダーバード」。そこでわたしの人格形成が始まった。

後に、父も母も二歳のわたしを抱いて、テレビシリーズのサンダーバードのNHK本放送を、毎回食い入るように見ていたという話を聞いたから、結局、生まれ落ちたときからサンダーバードの影響化にあったのだ。

コレクション癖、モノへの愛は、まちがひなくサンダーバードのプラモデルによって培われたものだ。買ってもらう、作る、飾る、遊ぶ、壊す、そしてまた買ってもらうまでのサイクルを繰り返して体験することによって、モノとの付き合い方が決定づけられた。

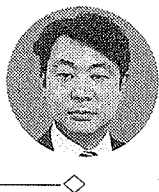
高校に入ったから、最初にやりたかったことが8ミリフィルムで映画を撮ること。もちろん、サンダーバードの特撮を自分の手で再現することが目的であ

## 民報

# サロン

## クレームは「SOS」だ

川村 龍俊



る。ドラマ部分は人間がやることにして、ほとんどの時間を模型やセットの作り込みに費やした。作っているときは自信にあふれていたのに、完成した映画を自分で見たとき、その情けなきに、本職のすごさを思い知らされた。サンダーバードの、特撮だけでなく、そのコンセプトやストーリーこそが、

業がしやすくなる環境を整える露払いが必要(まず1号が現場に飛ぶ)。起き得る未来をあまねく予想して準備する(2号のコンテナは六通り)。最少の労力で最大の効果を得る(ベースルが一人でも何台もの救助メカを操縦)。作業時にはバックアップを怠らない(コンテナには予備の救助メカ)。最終まったら年長者に頼る(おばあちゃん

の昔の記憶)。作業が終了したら作業担当者を必ずねぎらう(「よんやっとな、ベースル」)。

自分の人格の中の良否判断や、危機管理能力の根幹をなしていることに大人になって気がついた。経営者としてサンダーバードを見るなら、誰でもこんなことが学べる。第一次情報は、それに関係する人が同時に受け取る(リビングルームが司令室)。本作業を始める前に、その作

何よりも、わたしは経営上、一番重要な思想をサンダーバードから受け取っている。「呼んでいるあの声はSOSだ」お客さまからのクレームはSOSなのだ。決して嫌な顔をして悩むべきではないのだ。むしろ出動の時が来たとき、勇んで飛ぶべきなのだ。お客さまは困っているのだ。助けてほしいのだ。い

天気	最高	最低
曇	19.3	14.3
曇	19.9	14.6
曇	18.4	14.0
曇	21.8	20.5
曇	20.8	18.4
曇	19.9	14.3
曇	19.9	14.6
曇	18.4	14.0
曇	21.8	20.5
曇	20.8	18.4

**投稿の決まり**

▼原稿は、添削や不採用す▼二重投稿必ず住所、氏名、職業、電話番号、紙上匿名は不分に薄謝▼〒960-0860 2 三町13-17、福島県 なのひろば係。 024(531)、 電子メールはhiro npo.ne.jp